

火葬場運営の広域化について

沼田町火葬場は昭和 29 年に建設し、その後昭和 47 年に改築、整備や修繕を繰り返しながら現在に至っています。

火葬場を維持するために必要な運営費が年間約 350 万円かかっている事や、火葬場管理人の人材確保にも苦慮しております。また、近年、深川市で葬儀を執り行う方が増えた事により、沼田町火葬場の利用も減少しております。このような現状を踏まえ、本町単独で火葬場を維持することが困難となることから、平成 31 年 3 月 31 日をもって沼田町火葬場を閉鎖し、同年 4 月 1 日から葬斎場を運営する北空知衛生センター組合に加入する事としました。

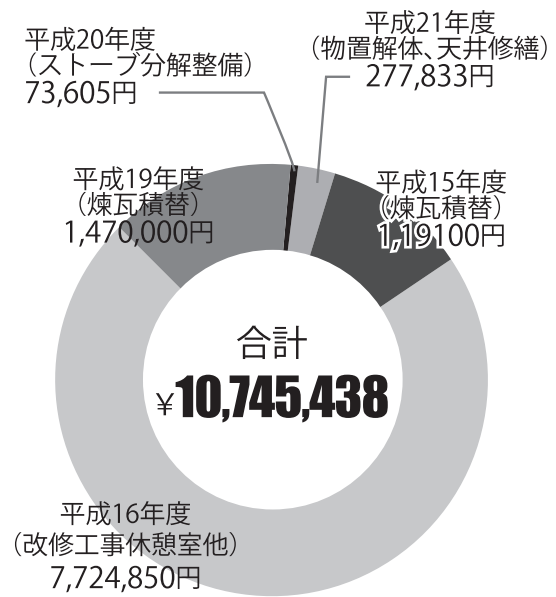
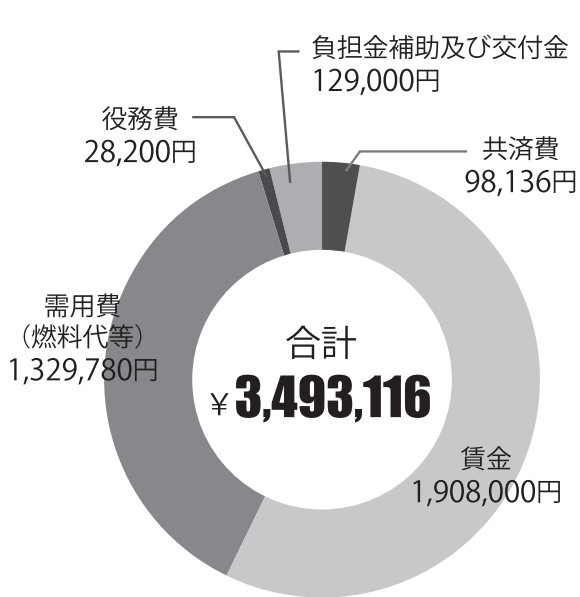
加入後の火葬は、北空知葬斎場を利用することになります。

また、北空知衛生センター組合では平成 33 年 12 月を目途とし、新たな斎場を建設する計画があり、沼田町としても、新斎場建設の計画に参画します。

長年利用されて来ました沼田町火葬場が閉鎖しますが、町民皆様のご理解とご協力をお願い致します。

1. 沼田町火葬場及び町民の火葬や葬儀の現状

① 沼田町火葬場の費用について(昭和29年建設、昭和47年改築)



② 町民の火葬場利用、葬儀の状況

火葬の状況

	火葬件数	内沼田町での火葬件数	内北空知葬斎場での火葬件数	内その他の市町での火葬件数
H28年度	52	39	9	4
H29年度	72	48	18	6

葬儀の状況

	葬儀件数	内沼田町での葬儀件数	内沼田町外での葬儀件数	深川市での葬儀件数
H28年度	52	35	17	13
H29年度	72	32	40	28

深川市での葬儀地域別内訳(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

深川市での葬儀件数	東 部	市 街 地	西 部
28	7	19	2

③ 火葬場管理人の高齢化及び人材確保

管理人の高齢化(現管理人:75歳) / 新たな人材を確保し続けることは困難

2.北空知葬斎場建設計画について

- ① 現状… 昭和48年4月供用開始(深川市、妹背牛町、秩父別町、平成7年北竜町加入)
現有施設 365.4㎡ 建設費 51,734千円 以降整備や修繕 23,835千円
- ② 目標… 老朽化対策やバリアフリー化が必要なことから新斎場建設
(平成33年12月供用開始)
総工費7億円(実質当町負担予定額23,000千円程度)
場所:現有施設の道路向かい(旧家畜共進会場あとを検討)
(H31年4月1日 北空知衛生センター組合へ北空知葬斎組合を統合
⇒統合後の北空知衛生センター組合で葬斎場建設計画を検討)

3.沼田町の方針

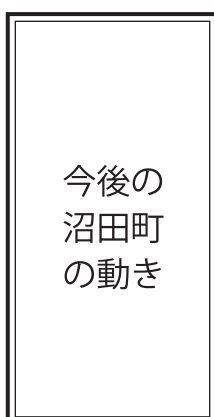
① 単独で火葬場を維持し続けることは困難

- ・建て替えや修繕などの費用が高騰
- ・管理人の高齢化や継続的な人材確保が困難
- ・管理費用3,500千円(H29単独)
⇒1,705千円(北空知葬斎組合負担金H30ベースで試算)



② 費用等

- ・財源確保(過疎債)のため組合統合時(平成31年4月1日)に加入
- ・現有施設の中途加入の負担金 747千円
- ・北空知葬斎場(現有施設)取り壊し費用についての当町負担はなし



- 平成31年3月31日 沼田町火葬場閉鎖
- ↓
- 平成31年4月1日 北空知衛生センター組合へ加入
- ↓
- ⇒火葬は北空知葬斎場
- ↓
- 新斎場建設計画に参画
- ↓
- 平成33年12月 新斎場供用開始(予定)